

「求められる家庭教育支援のあり方について考える（第9期答申）」

第1部 概要

第1章 家庭教育の基本と支援の方向性

「家庭教育」とは…

家庭での親・保護者と子どもとの関係を基本とし、子どもとの互恵的なかかわりの中で、子どもが知識や技術、規範や意欲などを身につけていくことを内容とするもの

他方…

子どもにとっても、大人にとっても、豊かな人間性を形づくるうえで、多様で重層的な「人間関係のチャンネル」が大きな影響を与えている。

家庭教育支援のあり方

親・保護者の抱えている課題を明らかにし、その解決に向けて適切に支援する



社会全体と子どもとの関係の問題としてとらえ、信頼感に満ちた豊かな「かかわり合い」を創出する

第2章 子ども・子育て環境を取り巻く社会状況と課題

- 自己肯定感をはぐくみにくい環境
- 子どもの基本的生活が保障されていない現状
- コミュニケーション力の低下
- 身体全体を使った遊び体験・自然体験の不足や大勢での遊びの減少
- 犯罪の増加とその凶悪化
- 情報化社会とメディア環境の変化
- 子育ての孤立化
- 家族の多様化
- 仕事（労働時間）と子育てのバランスがとれていない現状

家庭教育支援を行う際の基本的な視点と提言

- (1) 基本的な生活を保障する
- (2) 親子関係・家族関係の充実を図る
- (3) 子育てを楽しむ「育自力」を高める
- (4) 子どもをめぐる犯罪やメディア環境に対応する
- (5) 地域とともに子育てを行う
- (6) 保育所・幼稚園・学校と連携する
- (7) 企業と連携する
- (8) 家庭教育のコーディネーターを育成する